

10月27日から読書週間スタート!

10月27日~11月9日

暮らしのスタイルに、人生設計のなかに、新しい感覚での「本とのつきあい方」をとりいれていきませんか。



# 図書館だより



新着図書案内

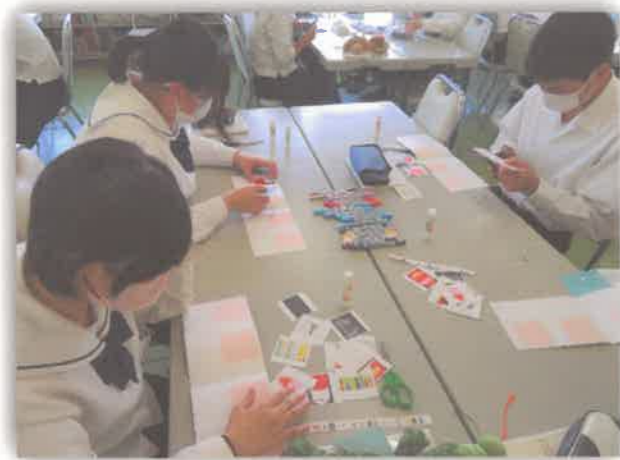
池田高等学校 辻校 2023年 10月号

## 図書ワークショップを開催しました!

令和5年9月27日(水) 辻校図書館にて徳島県立近代美術館より講師をお招きし、ワークショップを行いました。

画家 元永定正さんをテーマにした鑑賞シート「えほんをつくろう」を題材に、1年次生がオリジナルの絵本を制作しました。

絵本を「読む」立場から「作る」立場となり、多くの気づきが得られる貴重な時間となりました。



『二番目の悪者』 林木 林(著) 庄野 ナホコ(イラスト) 小さい書房 NDC分類 E

金色のたてがみを持つ金ライオンは、一国の王になりたかった。自分こそが王にふさわしいと思っていた。ところが、街はずれに住む優しい銀のライオンが「次の王様候補」と噂に聞く。ある日、金のライオンはとんでもないことを始めた——。登場するのは動物ばかり。人間はひとりも出てきません。けれど1ページ目はこの言葉から始まります。「これが全て作り話だと言い切れるだろうか。」



『15歳からの社会保障』 横山 北斗【著】日本評論社 NDC分類 364

社会保障制度の役割って? 知らなければ、利用できない。日常生活でピンチに見舞われた10人のストーリーを通して、社会保障制度がやさしく学べる。  
例【アルバイトができなくなり、生活費や家賃の支払いに不安を抱えているサトシ】あなたや大切な誰かを守るために知っておこう。生きのびるための大切な知識。



『魔女と過ごした七日間』 東野 圭吾【著】 KADOKAWA NDC分類 913.6

AIによる監視システムが強化された日本。指名手配犯捜しのスペシャリストだった元刑事が殺された。「あたしなりに推理する。その気があるなら、ついてきて」不思議な女性・円華に導かれ、父を亡くした少年の冒険が始まる。

## 遠藤 周作 生誕100年

小説家。(1923-1996)東京生れ。幼年期を旧満州大連で過ごし、神戸に帰国後、12歳でカトリックの洗礼を受ける。慶応大学仏文科卒。フランス留学を経て、1955(昭和30)年「白い人」で芥川賞を受賞。一貫して日本の精神風土とキリスト教の問題を追究する一方、ユーモア作品、歴史小説も多数ある。主な作品は『海と毒薬』『沈黙』『イエスの生涯』『侍』『スキャンダル』等。1995(平成7)年、文化勲章受章。

辻校図書館にも著書があります。ぜひ手に取ってくださいね!

## 10月の開館日

開館日	3日(火) 5日(木) 8日(日) 11日(水) 13日(金) 17日(火) 19日(木) 25日(水) 27日(金) 31日(火)
開館時間	10:15 ~ 16:45

この他にも、雑誌『レタスクラブ』『non・no』の最新号が入荷しています♪ ぜひ読みに来てくださいね!

